

平成30年8月24日

まちづくり委員会資料

公益財団法人川崎市公園緑地協会「経営改善及び
連携・活用に関する方針」の策定について

建設緑政局

経営改善及び連携・活用に関する方針

(平成30(2018)年度～平成33(2021)年度)

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市公園緑地協会	所管課	建設緑政局緑政部みどりの企画管理課
----------	------------------	-----	-------------------

経営改善及び連携・活用に関する方針

法人の施策概要

(1) 法人の事業概要

【公益目的事業】

- ① 緑の街づくりの推進及び普及啓発に関する事業
- ② 公園緑地の運営及び健全な利用促進に関する事業

【公益目的事業の推進に資するために実施する収益事業等】

駐車場及び売店等の経営

(2) 法人の設立目的

緑の保全と緑豊かな街づくりの推進及び公園緑地の円滑な運営を通して市民に健全な利用の促進、潤いと安らぎのある街づくりを行うことによる地域社会の健全な発展への寄与

(3) 法人のミッション

- ① 民有地の緑の保全及び緑化の普及啓発と市民の緑化意識の向上、市民による緑の街づくりの推進
- ② 緑のボランティアセンター機能としての、緑のボランティアの育成、活動支援の充実
- ③ 公園緑地施設等の円滑な運営と健全な利用の増進
- ④ 行政との協働により、市民の窓口となり市民ニーズを踏まえた多様な事業展開ができる緑の情報発信基地としての機能を果たし、緑豊かな潤いと安らぎのある街づくりに寄与すること

本市施策における法人の役割

市の緑地等に関する事業及び民有地の緑化に関する事業の推進に協力し、公園緑地の円滑な運営及び健全な利用の促進並びに市民の緑化意識の向上を図ることによって緑豊かな潤いと安らぎのあるまちづくりに寄与するとともに、ボランティアセンターとしての機能を付加することで、市民活動拠点として充実させること

- ・緑のボランティア育成及び持続的な活動の支援
- ・民有地に対する助成事業を行い、緑の保全、緑化の推進及び緑化意識の向上
- ・公園緑地施設等の管理運営

法人の取組と関連する計画	市総合計画における位置づけ	基本政策	施策
	分野別計画	市民生活を豊かにする環境づくり	協働の取組による緑の創出と育成
		川崎市緑の基本計画	

現状と課題

(現状)

「川崎市緑の基本計画」に基づき、市民との協働による都市緑化の推進と緑のボランティア活動支援に取り組み、各種講座、コンクール、イベント等を実施しています。また、公益目的事業の推進、公益財団法人としての自立的な経営に向けて、事業の簡素化、効率化、収益事業の拡充、組織再編等を図り経費削減に努めています。

(課題)

公園緑地の運営を進めていく上で、民間事業者との競争が激しくなっている中、事業経費の確保など自主的・自立的な経営の継続が課題となっています。

取組の方向性

(1) 経営改善項目

公園緑地における新たな管理運営を踏まえた事業の再構築を行うために、法人の自立性の確保や経営の安定化を図り、自主的な財源確保を目指します。
また、経営の改善にあたり、事業の簡素化・効率化を図ります。

(2) 本市における法人との連携・活用

「川崎市緑の基本計画」における各施策について、これまでの取組の継続に加えて、以下の観点で踏まえ、法人の役割を確認しながら連携・活用します。

- ・緑のパートナーとして多様な主体との連携、促進を図り、「緑育」という視点で、特に次世代を担う子供たちに対する活動支援
- ・緑の空間の持続的な保全・創出・育成という観点から、緑化助成制度の更なる普及と充実
- ・グリーンコミュニティ形成の観点から、身近な公園における地域コミュニティ形成、柔軟な利活用

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市公園緑地協会	所管課	建設緑政局緑政部みどりの企画管理課
----------	------------------	-----	-------------------

1. 本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する計画

4カ年計画の目標

緑の保全と緑豊かな街づくりの推進及び公園緑地の円滑な運営を通して市民に健全な利用の促進を図り、潤いと安らぎのある街づくりを行うことにより、地域社会の健全な発展に寄与するという公園緑地協会の目的を達成するため、「緑の街づくりの推進及び普及啓発に関する事業」「公園緑地の運営及び健全な利用促進に関する事業」「収益事業」の3つを柱に、川崎市の緑の保全と緑豊かな街づくりを推進し、法人を市民等の緑の活動支援や育成、普及啓発のためのボランティアセンターとしての機能を有する緑の拠点として位置づけ、緑に関する事業運営を推進拡充していきます。

本市施策推進に向けた事業計画

取組No.	事業名	指標	現状値	目標値					単位
			平成29(2017)年度	平成30(2018)年度	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度		
①	緑化推進・普及啓発事業	広報出稿等回数	241	243	245	248	250	回	
		記念樹配布本数	1,126	1,140	1,150	1,160	1,170	本	
		事業別の行政サービスコスト	50,573	50,500	50,300	50,100	50,000	千円	
②	緑のボランティア事業(緑のボランティアセンター運営事業)	各種講座受講者満足度	90	92	94	96	98	%	
		各種講座受講者数	3,866	3,870	3,880	3,890	3,900	名	
		事業別の行政サービスコスト	61,305	61,300	61,200	61,100	61,000	千円	
③	公園緑地の運営及び健全な利用促進に関する事業	各種イベント等実施回数	36	36	37	38	39	回	
		ばら苑来苑者数	75,112	95,200	96,000	98,000	100,000	人	
		事業別の行政サービスコスト	238,681	209,000	208,000	207,000	206,000	千円	

経営健全化に向けた事業計画

取組No.	項目名	指標	現状値	目標値					単位
			平成29(2017)年度	平成30(2018)年度	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度		
①	経費の削減	一般管理費	23,673	23,500	23,000	22,500	22,000	千円	

業務・組織に関わる計画

取組No.	項目名	指標	現状値	目標値					単位
			平成29(2017)年度	平成30(2018)年度	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度		
①	人事給与制度の改革	役員報酬、正規職員給与	88,227	87,000	87,000	87,000	63,000	千円	
②	コンプライアンスの徹底	コンプライアンスに反する事案の発生件数	0	0	0	0	0	件	

2. 本市施策推進に向けた事業計画①

事業名		緑化推進・普及啓発事業						
指標		①広報出稿等回数、②記念樹配布本数						
現状		緑化推進・普及啓発事業等を広報する媒体として広報誌・チラシ・パンフレット等の発行からホームページの活用まで幅広い広報活動を展開						
行動計画		広報誌・チラシ・パンフレット・タウン紙等の紙媒体からホームページなどの電子媒体を幅広く活用し、広く市民に緑化の推進・普及啓発事業等を周知していく。更にフェイスブック等を活用し、リアルタイムに情報を提供、周知できるよう努めます。						
スケジュール		現状値		目標値			単位	
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度		
指標	1	広報出稿等回数	241	243	245	248	250	回
	説明	広報誌・ホームページ等による緑化推進・普及啓発事業等の広報活動を展開						
	2	記念樹配布本数	1,126	1,140	1,150	1,160	1,170	本
	説明	出生、入学、結婚等の市民の思い出記念として、記念樹を贈呈						
	3	事業別の行政サービスコスト	50,573	50,500	50,300	50,100	50,000	千円
	説明	直接事業費－直接自己収入						

本市施策推進に向けた事業計画②

事業名		緑のボランティア事業(緑のボランティアセンター運営事業)						
指標		①各種講座受講者満足度 ②各種講座受講者数						
現状		緑のボランティア活動団体の育成を図るため、応募方式等による各種講座・出前講座を開催するとともに、緑のボランティア活動に対する支援事業を展開し、緑化意識の向上を図っています。						
行動計画		緑のボランティア育成と活動支援を目的とした各種講座・出前講座等を開催し、受講者数を増やすとともに、受講者の満足度を高めています。						
スケジュール		現状値		目標値			単位	
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度		
指標	1	各種講座受講者満足度	90	92	94	96	98	%
	説明	受講者アンケートにおいて、「満足」と回答のあった割合						
	2	各種講座受講者数	3,866	3,870	3,880	3,890	3,900	名
	説明	緑のボランティア育成・支援を目的に行う各種講座等の受講者数						
	3	事業別の行政サービスコスト	61,305	61,300	61,200	61,100	61,000	千円
	説明	直接事業費－直接自己収入						

本市施策推進に向けた事業計画③

事業名		公園緑地の運営及び健全な利用促進に関する事業						
指標		①各種イベント等実施回数、②ばら苑来苑者数						
現状		収益事業(売店・自動販売機・駐車場)を財源として、独自に展開している各種イベント(自主事業)をはじめ、公園内運動施設、生田緑地ばら苑等の受託運営管理事業を行っています。						
行動計画		収益事業の収益額を財源としている各種イベントの実施回数を4年間で10%増加させる目標を設定し、ばら苑でのイベント等の実施を増やしばら苑の来苑者数を増加させます。						
スケジュール		現状値	目標値					
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	単位	
指標	1	各種イベント等実施回数	36	36	37	38	39	回
		説明 サッカーフェスタ、凧揚げ大会、釣り教室、ばら苑コンサートなどの実施回数						
	2	ばら苑来苑者数	75,112	95,200	96,000	98,000	100,000	人
		説明 生田緑地ばら苑における春・秋の一般開放の来苑者数						
	3	事業別の行政サービスコスト	238,681	209,000	208,000	207,000	206,000	千円
		説明 直接事業費ー直接自己収入						

3. 経営健全化に向けた計画

項目名		経費の削減						
指標		一般管理費						
現状		平成25年度公益財団法人への移行に伴い、平成26年度以降組織再編と人件費、事業経費削減を図り、平成29年度も継続して事業の見直しと人員配置変更等を行い、法人運営費にあたる一般管理費の見直しを行っています。						
行動計画		光熱水費、消耗品、物件のリース等について、日常の業務見直し、一括発注などにより、一般管理費の経費削減を図ります。						
スケジュール		現状値	目標値					
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	単位	
指標	1	一般管理費	23,673	23,500	23,000	22,500	22,000	千円
		説明 一般管理費の経費総額						

4. 業務・組織に関する計画

項目名		人事給与制度の改革						
指標		役員報酬、正規職員給与						
現状		平成25年度公益財団法人への移行とゴルフ事業からの撤退に伴い組織再編を継続し人事給与の見直しを行い、役員報酬及びプロバ職員給与月額を減額しています。						
行動計画		今後も継続して経営、財政の安定化を図り、人件費削減に努めます。						
スケジュール		現状値		目標値				
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	単位	
指標	1	役員報酬、正規職員給与	88,227	87,000	87,000	87,000	63,000	千円
		説明 役員報酬・正規職員給与経費						

業務・組織に関する計画②

項目名		コンプライアンスの徹底						
指標		コンプライアンスに反する事案の発生件数						
現状		コンプライアンスに関連する規則の倫理行動基準を遵守しています。						
行動計画		引き続きコンプライアンスに関連する規則の倫理行動基準を遵守し、コンプライアンスに反する事案の発生を未然に防ぎます。						
スケジュール		現状値		目標値				
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	単位	
指標	1	コンプライアンスに反する事案の発生件数	0	0	0	0	0	件
		説明 事案が発生しないよう努める						

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市公園緑地協会	所管課	建設緑政局緑政部みどりの企画管理課
----------	-----------------	-----	-------------------

(参考)本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する計画に設定する指標一覧

本市施策推進に向けた事業計画

指標	指標の考え方	現状値	目標値	目標値の考え方
		平成29(2017)年度	平成33(2021)年度	
①緑化推進・普及啓発事業				
1	広報出稿回数 算出方法 協会広報誌・冊子・HP・市政だより・タウン紙等などの広報出稿回数	241回	250回	現在、広報媒体として特に力を入れているのが、ホームページ内のフェイスブックである。29年度からはじめて、広報出稿回数を過去4年間の平均(109回)を超えているが、さらに年2~3回の増を目標に設定した。 (参考:H26-29 平均109回)
2	記念樹配布本数 算出方法 出生・結婚・入学・成人等の思い出として市民に記念樹を配布する本数	1,126本	1,170本	記念樹の配布本数を過去4年間の平均(1137本)だが、さらに年10本の増を目標に設定した。 (参考:H26-29 平均1137本)
3	事業別の行政サービスコスト 算出方法 直接事業費ー直接自己収入	50,573千円	50,000千円	各経費削減に努め、年10~20万円程度の削減を目標として設定した。
②緑のボランティア事業(緑のボランティアセンター運営事業)				
1	各種講座受講者満足度 算出方法 受講者アンケートにおいて、「満足」と回答のあった割合	90%	98%	各種講座満足度について、さらに年2%の増を目標に設定した。 (参考:H26-29 平均92%)
2	各種講座受講者数 算出方法 花と緑、里山、こども黄緑クラブ、花壇ボランティア等各種講座の受講者数	3,866名	3,900名	各種講座回数を増やし講座受講者数を過去4年間の平均(3783名)だが、さらに年5~10人程度の増を目標に設定した。 (参考:H26-29 平均3783名)
3	事業別の行政サービスコスト 算出方法 直接事業費ー直接自己収入	61,305千円	61,000千円	各経費削減に努め、年10万円程度の削減を目標として設定した。

③公園緑地の運営及び健全な利用促進に関する事業

1	各種イベント等実施回数	公園緑地や運動施設の利用促進を図ることを目的に各種イベントを実施する回数を指標として設定した。	36回	39回	各種イベント等を充実させ、過去4年間の平均(30回)だが、さらに年1回程度の増を目標に設定した。 (参考:H26-29 平均30回)
	算出方法 協会主催等のイベント回数				
2	ばら苑来苑者数	春秋のばら苑開苑期間中の来苑者数は、天気によ左右されやすいが、各種イベント等や広報活動を充実させ来苑者数の増加による魅力の向上を図る指標として設定した。	75,112人	100,000人	春秋のばら苑開苑期間に行う各種イベント等と広報活動を充実させ、過去4年間の平均(95157名)だが、最終年度に100,000人とする目標に設定した。 (参考:H26-29 平均95,157名)
	算出方法 春秋のばら苑一般開放時来苑者数				
3	事業別の行政サービスコスト	効率的な施設運営等による支出削減の推進を図るため、事業別の行政サービスコストの推移を見ることで、その取組の成果を測る指標として設定した。	238,681千円	206,000千円	平成30年度は事業見直しにより209,000千円を目標とし、平成31年度以降は、更なる経費削減に努め、年100万円程度の削減を目標とした。
	算出方法 直接事業費-直接自己収入				

経営健全化に向けた事業計画

指標	指標の考え方	現状値	目標値	目標値の考え方
		平成29(2017)年度	平成33(2021)年度	

①経費の削減

1	一般管理費	平成25年度公益財団法人に移行後、組織再編に取り組み、人件費・管理費等削減に努めてきたが、引き続き経営の安定化等を図るため一般管理費を指標として設定した。	23,672千円	22,000千円	一般管理費の各経費削減に努め、年50万円程度の削減を目標として設定した。 (参考:H26-H29 平均22,000千円)
	算出方法 一般管理費の経費総額				

業務・組織に関わる計画

指標	指標の考え方	現状値	目標値	目標値の考え方
		平成29(2017)年度	平成33(2021)年度	

①人事給与制度の改革

1	役員報酬・正規職員給与	平成25年度公益財団法人に移行後、組織再編に取り組み、役員報酬・正規職員の人件費削減を行ってきました。引き続き人件費削減の取り組みを推進するため役員報酬・正規職員給与と経費を指標として設定した。	88,227千円	63,000千円	現行の給与費等を基準とし、これまでの削減達成度を参考に、今後、民間事業者との競争が激しくなっている状況の中で、さらなる組織の効率化を目指し、目標値を設定した。(参考:H26-H29 平均94,000千円)
	算出方法 役員報酬・正規職員給与と経費				

②コンプライアンスの徹底

1	コンプライアンスに反する事案の発生件数	コンプライアンスに反する事案の発生件数を指標とすることで、職場規律の遵守に向けた業務・組織に関する取組の成果を測ることができます。	0件	0件	引き続きコンプライアンスに関連する規則の倫理行動基準を遵守し、コンプライアンスに反する事案の件数が0件となることを目標とします。
	算出方法 コンプライアンスに反する事案の発生件数				

資 金 計 画 表

[平成30年度～平成33年度]

法人名: 公益財団法人川崎市公園緑地協会

(単位: 千円)

項 目			決算	予算	計画		
			平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
経常収支	収入	補助金	97,188	103,417	100,000	100,000	100,000
		事業収入	400,144	364,077	365,000	366,000	367,000
		受取寄付金	4,132	4,500	4,500	4,500	4,500
		受取利息等	377	354	330	330	330
		経常収入合計	501,841	472,348	469,830	470,830	471,830
	支出	事業費	454,229	447,633	446,560	448,060	449,560
		一般管理費	23,673	25,645	23,000	22,500	22,000
		法人税等支出	270	270	270	270	270
		経常支出合計	478,172	473,548	469,830	470,830	471,830
		経常収支	23,669	△ 1,200	0	0	0
投資収支	固定資産売却収入	0	0	0	0	0	
	投資有価証券等売却収入	0	0	0	0	0	
	固定資産取得支出	0	0	0	0	0	
	投資有価証券等取得支出	0	0	0	0	0	
	投資等収支	0	0	0	0	0	
財務収支	借入金収入	0	0	0	0	0	
	借入均等返済支出	0	0	0	0	0	
	財務収支	0	0	0	0	0	
現金預金増加高			23,669	△ 1,200	0	0	0
期首現金預金			246,608	270,277	269,077	269,077	269,077
期末現金預金			270,277	269,077	269,077	269,077	269,077